



2023年3月22日

各位

会社名 イオン九州株式会社
代表者名 代表取締役社長 柴田 祐司
(コード番号：2653 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 常務執行役員
管理・コーポレートコミュニケーション担当兼管理本部長
赤木 正彦
(電話番号 092-441-0611)

当社の親会社 イオン株式会社
代表者名 取締役兼代表執行役社長 吉田 昭夫
(コード番号：8267 東証プライム市場)

通期業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年4月8日に公表した2023年2月期の通期業績予想及び配当予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2023年2月期（2022年3月1日～2023年2月28日）業績予想

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	477,000	5,800	6,000	2,800	80.85
今回修正予想（B）	484,400	8,300	8,800	4,600	132.68
増減額（B－A）	7,400	2,500	2,800	1,800	
増減率（％）	1.6	43.1	46.7	64.3	
（ご参考）前期実績 （2022年2月期）	481,199	5,663	5,994	2,770	80.00

(2) 修正の理由

当期においては、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響に加え、原材料費やエネルギー価格の高騰、急激な円安の進行など不透明な状況が続きましたが、行動制限の緩和に加え、政府による観光支援策や地域経済の活性化を目的としたプレミアム付き商品券の発行等が下支えし、売上高の推移は想定を上回りました。特に、商品の値上げが相次いだ9月以降、お客さまの毎日の暮らしを価格で応援する「本気の価格 1000 品目」「50 周年月間おすすめ価格」「トップバリュ」の展開を強化したことで、食品の売上が前年同期に比べ大幅に伸びました。また、経費面では、電力使用量の削減、レジのスマート化、販促施策のデジタルシフト等による生産性改善の取り組みを継続した結果、通期の営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益はそれぞれ前回発表予想を上回る見通しとなりました。

2. 配当予想の修正について

(1) 2023年2月期 配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	20.00	20.00
今回修正予想	—	28.00	28.00
当期実績	0.00		
(ご参考) 前期実績 (2022年2月期)	0.00	20.00 (普通配当 15.00) (記念配当 5.00)	20.00 (普通配当 15.00) (記念配当 5.00)

(2) 修正の理由

当社は、中長期的な成長を目指し、企業の価値向上と利益配分のバランスの最適化を図ることを重要政策と位置づけ、経営成績を反映させた配当性向の目安を30%に置き、株主の皆さまへの安定的な利益還元を図ることを基本方針としております。

2023年2月期の期末配当予想につきましては、上記の基本方針と業績予想の修正を踏まえ、前回予想から8円増額し1株当たり28円に修正することといたしました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上